

1 管理状況
<p>○ 適切な管理の履行</p> <p>・ 人員配置 施設内に管理運営、警備、清掃、設備を担うスタッフを適切に配置し、お客様対応、施設の不具合などに適切かつ迅速に対応。また、東京2020大会期間中の開館時間の大幅な延長等、必要に応じて増員するなどして対応。</p> <p>・ 人材育成の取組 新型コロナウイルスへの適切な対応のため、検疫感染症措置訓練への参加、安全性の観点から自衛消防技術認定講習の受講、上級救命認定の資格を取得。</p> <p>・ 施設の維持管理、使用許可、補修、修繕等 東京都関係者と密な連絡、調整、連携し、補修・修繕を実施。 東京2020大会期間中、設備機能を維持するため業務時間を延長し、老朽化が進む施設を適切に管理。また、台風、豪雨に迅速に対応するための水害被害対応措置を構築し、大会期間中に迅速に対応。</p> <p>・ 警備体制 東京2020大会期間中、警備室が選手村内危機管理基地の一つとして設定され、選手村危機管理室より警備対応について高評価を得た。また、外国人を中心に多くの大会関係者の来館がある中、組織委員会と連携し柔軟に対応。</p> <p>・ 施設の清掃等 東京2020大会期間中、スタッフ増員し、業務エリアを拡大、時間延長を実施。特別清掃も追加し、計画を上回る清掃を実施。</p>
<p>○ 安全性の確保</p> <p>・ 防災・防犯体制強化に向けた取組 東京2020大会に備えるため、組織委員会、臨港消防署と連携し、合同訓練を実施。また、選手村危機管理室との情報伝達訓練の実施するなど、非常時・緊急時に備えている。</p> <p>・ 緊急時対策 ①東京2020大会期間中には、客船寄港雨天時のノウハウを生かし、雨に濡れづらく混乱を回避できる動線を提案、協力するなど柔軟に対応。雷雨時にも屋外にいる外国人利用者に英語でアナウンス等も実施するなど、積極的に対応。 ②晴海・青海客船ターミナル解体に向け、不要な粗大ごみの撤去・廃棄。</p> <p>・ 事故等への対応 ①緊急時アクションマニュアル、救急対応マニュアル等の掲示。ホール利用者への避難経路図の案内表示 ②上級救命技能認定取得(再掲) ③AEDなどの救急用品・器具の点検等</p>
<p>○ 法令等の遵守</p> <p>・ 情報事故への対応を強化：ネットワークシステムのクラウド化導入により情報セキュリティ対策を強化。</p>

2 事業効果	
○ 事業の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業の取組 (晴海) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意し、フォトコンテストを実施。 ・ 利用者サービスの向上に向けた取り組み <ol style="list-style-type: none"> ① (晴海) 東京2020大会期間中の清掃・設備人員増及び対応時間延長 ② (晴海) 閉鎖前「さよなら晴海」展示会 オンライン開催 ③ (晴海) 「さよなら晴海」一般公開期間中のフォトスポット看板の設置や来場者への記念はがきのプレゼント ④ (晴海) SNSやホームページを活用し、施設閉鎖について効果的にPR ⑤ (有明) 風鈴回廊の設置。大会期間中の外国人来館者用英語表記 ⑥ (有明) クルーズの動画放映やチラシによる情報提供 	
○ 利用の状況	
乗降客数	3 施設計 7,033名
撮影合計	3 施設計 61件
○ 利用者の反応	
<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの実施 ターミナル全般に対する満足度について、満足・やや満足が98%となり、高い評価を得ている。 	
○ 行政目的の達成	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 都及び関係機関等との連携（新型コロナウイルス関係を除く。） <ol style="list-style-type: none"> ① 東京2020大会実施に当たり、施設安全点検への協力や合同消防訓練の実施など、月島警察署、臨港消防署との連携強化を図り、安全管理の徹底に取り組んだ。 ② クルーズ振興を高めるため、有明客船ターミナル内のサイネージによりPR映像を放映、パンフレット設置等を実施。 ・ 東京2020大会への寄与 <ol style="list-style-type: none"> ① 組織委員会と連携し、安全管理、清掃、空調等の施設管理全般について全面協力を行った。 ② 時間外入場ルール、事故防止のための利用ルールなど、組織委員会仕様による新たなルールづくりを行うとともに、組織委員会と1日2回ミーティングを行うなど、関係者との情報連携強化を図った。 ・ 都の実施策への協力 <ol style="list-style-type: none"> ① 組織委員会と連携し、安全管理、清掃、空調等の施設管理全般について全面協力を行った。（再掲） ② 晴海・青海客船ターミナルについて、什器の廃棄、ライフラインの閉栓調整など解体前整理に全面協力を行った。 ③ 晴海閉鎖に伴う「さよなら晴海」展示会のオンライン開催及び最終一般開放への全面協力を行った。 ④ 舟運船舶利用時の現地予約確認及び事務局への利用時間報告等に協力。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組 <ol style="list-style-type: none"> ① 感染拡大防止対策の徹底 入口への消毒液の設置、換気の徹底、動線の整理、注意喚起、消毒清掃などにより安心して安全な施設の提供に努めた。 ② 東京2020大会期間中、清掃員を増員、エリア拡大、消毒回数を増加するなど対策を強化するとともに、社員及び全スタッフは定期的にPCR検査を実施。 ③ (有明) デジタルサイネージを使用し、感染防止対策の広報を強化。 	

3 収支状況 (単位：千円)

項目		金額 (税込)
収 入	指定管理料	392,454
支 出	管理運営費	361,290
収支差		31,164